

葛飾区

# 緑化推進協力員だより

第51号



2025年3月 葛飾区緑化推進協力員会  
協力 葛飾区環境部環境課緑と花のまち推進係

## 【表 紙】

1 2月5日に開催された緑化推進協力員向け勉強会「ブルーベリー栽培教室」の様子です。

緑化推進協力員会では内部でも勉強会が開かれ、今年度はその他にも

10月4日には「しだれ梅維持管理勉強会」、3月7日には「協力員向け春の園芸教室」が開催されました。

協力員間で知識を教え合えるだけでなく、ブロックを越えての交流が楽しめるため、大好評のイベントとなっております。

葛飾区緑化推進協力員は、葛飾区緑の保護と育成に関する条例に基づき葛飾区長から委嘱された、緑の保護と育成に関する区の施策に協力し、緑に関する知識と熱意を持って自主的な地域活動を積極的に推進していく区民のボランティアです。

緑化推進協力員会全体での活動、区内を4つのブロックに分け、それぞれの地域で行うブロック活動、地域における個人での活動など、緑化に関する様々な普及啓発や活動を行っています。

この「緑化推進協力員だより」では、緑化推進協力員の日頃の活動や、緑化について感じたこと・考えたことなどをまとめたもので、年に2回発行しています。

# 目 次

	題 名	ブロック	氏 名 ペンネーム	ページ
1	活動記録（前期）	第1ブロック		1
2		第2ブロック		2
3		第3ブロック		3
4		第4ブロック		4
5	花を愛でる・樹木を愛でる	第1ブロック	佐々木 定治	5
6	ビオラの病気	第1ブロック	引地 詔子	7
7	太田道灌と「山吹の里伝説」	第2ブロック	五十嵐 美鈴	8
8	「プランター菜園」の出来映え	第2ブロック	近藤 文子	10
9	苔玉で雑草を育てる 雑草雑感Ⅳ	第3ブロック	下井 守	12
10	感謝の毎日	第3ブロック	まあ〜ちゃん (ペンネーム)	14
11	園児の瞳の先には	第4ブロック	田中 アヤ (ペンネーム)	16
12	編集後記		編 集 委 員	18



## 第1ブロック活動記録(令和6年10月1日から令和7年3月31日)

月日	場所	活動名	内容
10月1日	金町駅前	夏花から冬花へ	FMG花苗処分
10月4日	東水元若葉公園	剪定講座	しだれ梅剪定
10月12日	細田グリーンバンク	樹木フェア	樹木配布
10月16日	亀有地区センター	絵手紙審査会	審査委員
10月19日 ~27日	日比谷公園	ガーデニングショウ	広告委員
11月5日	川崎	見学	全国都市緑化かわさき フェア参加
11月16日	埼玉	埼玉自然学習センターの北 本自然観察公園での研修 会	研修会
11月18日	区役所	憩いガーデン花壇植え付け	冬花苗へ
11月19日	水元中央公園	花壇植え付け	冬花苗へ
11月24日	江戸川河川敷	チューリップ植え付け	チューリップ植え付け
11月25日	青戸地区センター	葛飾花と緑のはがきコンク ール表彰式	表彰式
12月4日	清水農園	一般公募園芸教室	底面給水プランター
12月5日	清水農園	緑化推進協力員園芸教室	ブルーベリー植え付け
12月15日	サロンド花いち	花壇懇親会	プランター野菜配布
1月20日	かつしかエコライフプラザ	花いっぱいのもちづくり推進 協議会役員会&新年会	役員会
1月31日	区役所	葛飾協働まちづくり表彰式	緑化活動&FMG
2月17日	立石エコプラザ	花いっぱいのもちづくり推進 協議会	役員会
3月2日	亀有地区センター	花いっぱいのもちづくり推進 協議会	総会
3月7日	清水農園	緑化推進協力員園芸教室	ブルーベリー剪定等
3月13日	区役所	ガーデンプロジェクト12会議	春夏デザイン会議

## 第2ブロック活動記録(令和6年10月1日から令和7年3月31日)

月日	会場	会議名・事業名	内容
10月10日	曳舟川親水公園	コスモス、トウガラシの植付	2名
10月14日	曳舟川親水公園	水やり、除草	2名
10月22日	曳舟川親水公園	水やり	1名
10月26日	曳舟川親水公園	花壇の片付け (黄花コスモス、ヒマワリ)	2名
10月29日	曳舟川親水公園	花壇の片付け (黄花コスモス、ほうき草)	3名
11月7日	曳舟川親水公園	花壇の片付け (コスモス、ほうき草)	1名
11月16日	曳舟川親水公園	花壇耕耘、整備	6名
11月19日	曳舟川親水公園	堆肥等花壇へ搬入と、材木を利用し チューリップ植付コーナー作成	5名
11月26日	曳舟川親水公園	花壇に培養土、肥料を混ぜて入れる	2名
12月4日	曳舟川親水公園	タマリユウ、ヤブラン、チューリップ 植付	2名
12月7日	曳舟川親水公園	花壇花植え(里親ガーデン)イベント	30名参加
12月11日	曳舟川親水公園	花壇花植え パンジー、シロタエギク 他	2名
12月20日	曳舟川親水公園	チューリップ球根に土を掛ける、水やり	1名
12月27日	曳舟川親水公園	落葉清掃	2名

※月or火は水やり他花壇整備



↑ 12月17日イベント時の様子

### 第3ブロック活動記録(令和6年10月1日から令和7年3月31日)

月日	会場	会議名・事業名	参加者数・内容 など
10月12日	渋江公園花壇	雑草とり, 花柄つみ, 水撒	参加者 10 名
10月17日	区役所見本園	園芸講習会	松ぼっくり苔玉 参加者 14 名
10月23日	渋江公園花壇	雑草とり, 花柄つみ, 水撒	参加者 8 名
11月9日	渋江公園花壇	整地	参加者 10 名
11月15日	下井宅	花苗搬入	
11月16日	渋江公園花壇	花苗植え付け	参加者 11 名
12月14日	渋江公園花壇	雑草とり, 花柄つみ, 水撒	参加者 8 名
12月25日	渋江公園花壇	雑草とり, 花柄つみ, 水撒	参加者 6 名
1月11日	渋江公園花壇	雑草とり, 花柄つみ, 水撒	参加者 11 名 終了後近くの喫茶店で新年会
1月22日	渋江公園花壇	雑草とり, 花柄つみ, 水撒	参加者 9 名
2月8日	渋江公園花壇	雑草とり, 花柄つみ, 水撒	参加者 9 名
2月26日	渋江公園花壇	雑草とり, 花柄つみ, 水撒	参加者 6 名
3月8日	渋江公園花壇	雑草とり, 花柄つみ	参加者 8 名
3月26日	渋江公園花壇	雑草とり, 花柄つみ, 水撒	予定

今期1名が地域の町会長に就任するため、兼務不能となり退任され、17名になった。

第2土曜日第4水曜日が渋江公園での定期的な作業になっている。その間も、天候に応じて適宜水撒きなどを行っている。

今季植え付けた花苗は、良く咲くスミレ4トレー、ノースポール2トレー、ブラキカム、ネメシア、ストック、キンギョソウ、イベリス、スーパーアリッサム、バコパ、ヘーベリキシマ 各1トレー。

屋上緑化見本園花壇の維持管理は、3班にわかれ、各班月1回担当している。

園芸教室は江良さんが講師で”松ぼっくり苔玉でテラリウム”を実施した。定員 20 名で申込みは定員を超えて満員だったが、残念ながら当日欠席者数が多く、14名の参加者だった。

協力員 6 名が助手をつとめた。

## 第4ブロック活動記録(令和6年10月1日から令和7年3月31日)

月日	会場	会議名・事業名	内容
10月12日	細田グリーンバンク	秋・樹木フェア	各種樹木の配布と害虫対策相談及び剪定。ブルベリ、キンモクセイ他
10月12日	細田花壇	花壇整理	カンナを摘心して枯葉も除く。
11月12日	細田花壇	花壇管理	メランポジウム、ダリアの下葉の整理
12月10日	細田花壇	花壇の植え替え	連作障害軽減 堆肥を扱う花種
12月17日	細田花壇	チューリップ球根植え	近隣の保育園児達と
1月14日	細田花壇	花壇管理	寒い時期の為、花全体の動きなく花柄等を摘む。スノードロップ咲く。
2月12日	細田花壇	花壇管理	灌水をていねいにする。ネモヒイラの種から、発芽。2~3枚葉出る。
3月11日	細田花壇	花壇管理	クリスマスローズ、有茎、無茎の移動する予定
11月19日	新小岩間栗公園	植え替え テーマ:天を衝く	よく咲くすみれ、ストック、エベリス、ヒューケラ、チューリップ
	新小岩間栗公園	コンポート管理	

10~3月は花柄摘み、灌水、掃除 10回活動(予定含む)  
チューリップは、カラスの球根の掘り起こし被害の為全滅です。

# 葛飾区緑化推進協力員だより 51号に寄せる

第1ブロック 佐々木 定治

花を愛でる・樹木を愛でる



10/24 水元3丁目 月下美人



11/16 埼玉自然学習センターの北本自然観察公園



12/16 ハポタン 水元3丁目



1/4 サザンカ 水元3丁目



12/28 マツ



フユザクラ 水元2丁目

花が好きであること・緑が好きであること・花や緑を見ていると心が和むこと……。それは緑化推進協力員の大事な暮らし様であると思います。それは花と緑が、日々の暮らしの中で人としての生き方に、少なからず心豊かさを添えてくれるものであると考えるからです。季節の折々に出くわす緑や花に何となく出会うことから、積極的に出会う心得を研修によって学び、少しでも暮らしに彩を添える暮らしをしたいと自分に言い聞かせています。

# 命を育てる・命を学ぶ・緑の力



12/12 大根の収穫



水元3丁目区民農園

1/6 チジミ小松菜



生きることは食することです。「食する」ことは、今ある自分の「命」をつなぐことです。「野菜の持つ命」を人間がいただいて「自分の命」をつないでいるのです。そこに「いただきます」「ご馳走様」を添えた「感謝」の言葉が生まれてくるのです。

私は、非常勤で区内の「幼保連携型認定子ども園」に勤務しています。ここでは区民農園で種から野菜を園児が育てています。12月の大根収穫・冬の寒さが、小松菜の葉にチジミを形成し、甘みを増すというチジミ小松菜

の収穫に歓声があがりました。まさに「命への感激と感謝」への出会いでもあります。そして、給食でいただく園児の育てた野菜は、園児の体と知恵を育てる一助になっています。

畑の緑は、人のお世話なくしては育ちません。あれこれと工夫しながら緑を育てることは、やはり愛情をかけて緑と共に生きることだと考えます。そんなことを考えながら、野菜を育てることを通して、園長先生や保育教諭そして栄養士の指示を受けてこの冬も緑の力を借りて、命の大切さを園児と学んでいます。

## ビオラの病気

1ブロック 引地 詔子

水元公園内グリーンプラザの花壇に10月25日にビオラ1000株を植えました。でも12月ごろからブルーのビオラが100株枯れだしたので撤去して土壌改良剤でオーソサイド水和剤80を土に散布して1週間おいて新しい苗を植え替えました。1ヶ月以上たちますが今は元気に育って花も咲いています。黄色のビオラも少し枯れましたが赤花は大丈夫なのでブルーの苗が良くなかったのかな。

12月15日にサロンド花いちに参加して、フォーチュンベゴニアの育て方講座でよくわかりましたが、難しい花のようですね。

講師の方にビオラの話をお願いしたら、色々あって①水やり②苗が病気③土に菌が入っている?④連作病も考えられる?先生もわからないそうです。今のところ元気なので土壌改良が良かったのかな。観察していきます。



## 太田道灌と「山吹の里伝説」

2ブロック 五十嵐 美鈴

お庭の黄色い可憐な山吹の花が咲くと、私は母が教えてくれた太田道灌と「山吹の里伝説」の古歌を思い出します。

「七重八重花は咲けども山吹の実のひとつだになきぞ悲しき」

この古歌は、太田道灌が、鷹狩中に急な雨に降られて一軒の農家に蓑を借りようと立ち寄り、その時少女が一枝の山吹の花を差し出しました。古歌を引用し実と蓑をかけて蓑がないことをお詫びする気持ちを込めて、山吹の花を差し出したのです。

私はこの古歌の意味を知り感動♥

山吹について図書館で調べてみました。

【植物名の由来】 細い枝が山の微風にもサヤサヤとよく振れ動くことから「山振（やまぶり）」とされ、これが転訛（てんか）してヤマブキとなったといわれる。

【方言】 すっぽん（長野）とーし（熊本）

【別名・異名】 おもかげぐさ、山振、夜麻夫枝（やまぶき）、棗棠（やまぶき）

おもかげぐさには、恋人たちの別れにまつわる言い伝えがある。

なお、外国では「日本のバラ」とも呼ばれる。

【特徴】 日本全国および中国に分布。山間の谷川沿いや山野に自生し庭木としても知られる。高さ約2メートル。4～5月頃、薄緑色の若葉に混じって黄色い五弁の散りやすい花が咲く。一重咲き、八重咲きがあり、一重咲きのものはほとんど結実するが、八重咲きではまれである。『万葉集』にはヤマブキを詠んだ歌が一七首あるが、その多くは八重咲きを題材と

している。それゆえ「花咲きて実はならねども・・・」などとされるのである。根が多く、浅いため、腐植質の適湿地を好み春芽の出る前に株分けすると繁殖しやすい。

【種類】バラ科の落葉低木。キクのように細い花弁の重なるキクザキヤマブキ、葉に白い斑のあるフィリヤマブキ、白い花のシロバナヤマブキなどがある。なおシロヤマブキは名前は似ているが別属である。

【見処】太田道灌の故事に出てくる「山吹の里」は、今の越生（おごせ：埼玉）と伝えられ、同市周辺にはヤマブキが多く「七重八重花は咲けども山吹の・・・」の歌碑があり、そのまわりにも数十株のヤマブキが植えられている。また、長野県の本曾谷の野生のヤマブキも美しい。

【薬用】花弁が薬用に使われる。

【用途】茎のスポンジ状の芯を切って細竹の鉄砲の玉にするなど、昔から子供たちが遊び道具としてきた。

※参考書籍 四季花ごよみ（座右版）

発行所 株式会社講談社

発行者 野間佐知子

平成6年3月15日第一刷発行



## 「プランター栽培」の出来栄え

2ブロック 近藤文子

庭もトラックが入る都合上、アスファルト舗装をし、造園に必要な脚立やはしご、その他の機械で土の部分は、ほんのわずかになった。

50年前に接木して、沢山の実がなる百目柿の下だけは土で残してもらった。昨夏も幾つかの蝉が出た穴があり、この時をどんなに待っていたらと思うとため息が出た。

庭中の土に穴があり、蝉が何本かの木で脱皮し、空の姿だけ残っていて、その蝉のカラをまた木に飾ったものである。

我が家の庭でさえも、大地が息をするスペースがほんのわずかになり、自分の学んでいる温暖化の要因を増やしている様で、何とも情けない。

しかし、どこかで自分の気持ちをなくさめるために屋上にプランターを持っていき、ミニ家庭菜園をやることにした。形の違うプランターだが深いものにはダイコン、浅いものにはハウレンソウとコマツナを育てた。

私はどうしても種をきちんと蒔かなければ納得しない性格で、ダイコンの小さな種を1粒ずつピンセットで等間隔に蒔く。

まず農家は無理でしょうと皆から笑われるが、困った性格である。種をバラ蒔きで芽だししても、間引きではなく1本1本植え替えるので間隔は素晴らしいですよ・・・。

はてさて、昨夏は酷暑で芽が出てても成長が遅く、苗を買って植えたナス、ピーマンは、秋になってから実が成り始め、田舎の農家の方に聞いても同じであった。北風が吹き始めた頃、どんどんなり始めた。ピーマンを鉢に移し替え、部屋に置い

てみた。冬越ができるかどうかの実験をしている。現在も少々葉は痛んでいるが、春には元気に枝を出しそうである。楽しみである。

青首大根もカブもみごとにプランター菜園で育った。コマツナも OK。ハウレンソウは、まだまだ成長が遅いが、寒さに当たると甘さが増すと聞いているので、これからが収穫である。

清水一郎委員さんが「プランターで育てるジャガイモ」を教えてくださいました。それをヒントに小さな小さなプランターの菜園での収穫に、少々自信を得たのはまちがいありません。

何か出来る、やってみる。土作り、種蒔き、芽が出て野菜らしく成長していく階段を味わってみませんか？ 1個のプランターで経験できるのです。大げさな「地球温暖化を考える」その前に一人でも多くが緑の存在を手助けすることです。

まもなくジャガイモ植付の季節。台所の隅（すみ）で眠っているかもしれない芽が出始めたジャガイモでも OK！ プランターに植えてみませんか？

- 雛飾る 節くれ指に 赤味さす
- 芽を出せば 姿見せよと 春の雨
- 春の雪 ものの心渡る かずら橋

文子



## 苔玉で雑草を育てる 雑草雑感 IV

### 第3ブロック 下井 守

前回シュンランの植木鉢に出てきた雑草化している外来種ヒメオウギが生えてきてしまった話を書いた。今回も二番煎じ的な話になってしまうが、苔玉に生えてきた雑草を育てた話を書く。

一昨年黒松の苔玉をつくり、清水農園でもらった太い竹とあわせて新年の飾りにし、年賀状にも使った（写真1）。

その苔玉を大切に維持していた。ところが、夏に長期間家を空ける際に、近くに住む孫に植木鉢の水やりを頼んだのだが、苔玉の水やりを頼むのをすっかり忘れ、帰宅したらカラカラに乾いていて、黒松が枯れてしまった。他のハナキリンやテーブルヤシの苔玉はその後の水やりでかろうじて息を吹き返したが、黒松には致命的だったようだ。これまでの経験で、カエデなどは水不足で枯れてしまっても何とか次ぎの芽が生えてくるので、もしかしたら黒松でも芽が再生してくるのでは、と虫のいい望みをもってその後は水を絶やさずにいた。



写真1

カエデなどと違い、黒松の再生は無理だなと思い始めたころ、苔玉の上部から草が生え始めた。葉の形から庭にたくさん生えている雑草の一種と同じだとわかったが、黒松の事があったので、そのまま水を絶やさず、雑草を活かしておいたところ小さい白い十字の花を咲かせた。手持ちの小さな図鑑とくらべてアブラナ科のタネツケバナに間違いのないと同定した。しかし、図書館で牧野の大図鑑にも当たった

ところ、タネツケバナ記されているものには追記の注がついていて、タネツケバナではなくオオバタネツケバナを描いたものであろうとあった。因みに同図鑑にはオオバタネツケバナの項もあり、その追記には本図はオオバタネツケバナではなくむしろニシノオオタネツケバナを描いたものであろう、と記されていて、本当に正しい名前が何なのかわからない。どっちにしろタネツケバナの仲間なのだということとで止まっている。また、図鑑には多年草とあるが、花の後、葉がきれいな赤色に紅葉した。紅葉のことはどの図鑑にも書いていないし、庭に生えていたものでそんな紅葉を気にしたこともなかったので、苔玉で育てたが故の発見であった。

現在また新しい芽が育ってきて、赤く朽ちた葉と新しい緑の葉、そして新しい花芽と種が共存している状態で、枯れた松との共演はちょっとした盆栽の風情を醸し出していて、雑草と呼んではかわいそうと思っている（写真2）。



写真2

## 感謝の毎日

### 3ブロック まあ〜ちゃん

冬から春への季節の変化は、木々達や道端の小さな花や緑の変幻に考えられます。

吉例ウォークに参加させていただきました。大勢100名余のご参加、地元のスタッフの方々のご協力をしみじみ感じました。お花も緑も各々の地域での結び付きで優しくされております。中川の新春の陽差しは、心のやすらぎを感じさせます。

「花いっぱいでおもてなし・活動中」の赤いのぼり旗は、新春の始まりを伝える合図でございます。到着後、都立農産高校の生徒さんが育てた苗をいただきました。我が家の狭い庭先に植えました。パンジーの笑顔は、家族の一員となりました。

さて新潟県五泉市からいただいたチューリップの球根順調に生育中でございます。

♪赤白黄色♪のチューリップの花は、3月末には咲き誇ることでしょう。柴又公園でのお披露目会も楽しみでございます。

全国みどりと花のフェアかつしかが展開されるとの事、葛飾区も回遊するコースを考えたりして、葛飾区が隅々で花や木々の笑顔自慢が行われますね。期待しております。

普段の積み重ねが人と街とを結び付ける魔法を緑化は持っていると思います。菖蒲まつりを始めとして、季節の移ろいと共に葛飾区にいっぱいの花々が咲き揃う暖かい日々を思う今日この頃でございます。



春は、人生のスタートとも感じられます。エネルギーと生活への証にも似た木々や花々、貴女に元気と勇気をもらって毎日楽しく暮らせる幸せを駅前の小さな花壇に、ありがとうの声をかけております。笑顔との結びつきは地域の花々によってもたらせております。

ありがとうございます。貴女に感謝でございます。



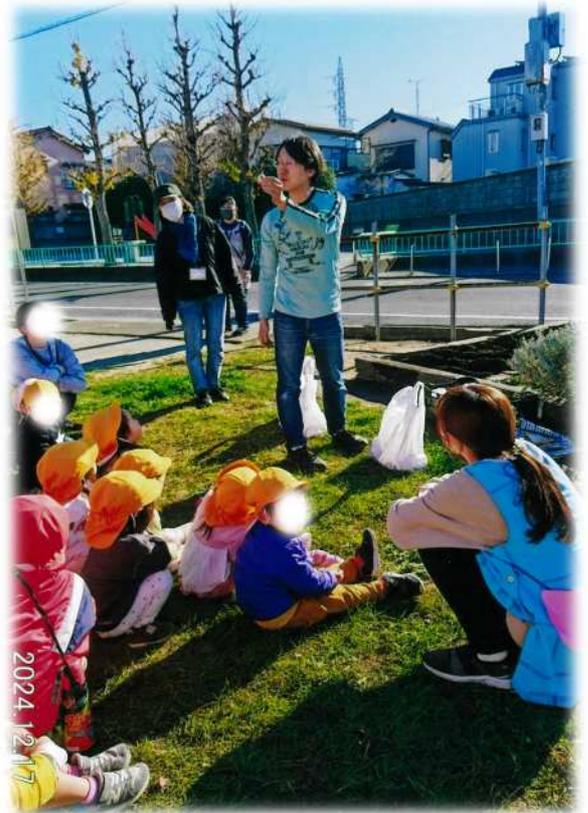
## 園児の瞳の先には

4ブロック 田中 あや

2022 年から細田花壇でのイベントになりました園児たちとチューリップ球根を植えようが始まった。

今年も（12月17日）近隣の保育園の協力のもと行うことができました。

葛飾区が用意していただいたチューリップ球根を担当の直井氏が一つ一つ手にもち植え方の説明をすると園児達の瞳の先にはびっくりから大きな球根がありました。各組を決めているのが帽子の色。赤、オレンジ、桃と澄み渡る空に元気な声が響き渡りました。



チューリップ球根を植えやすいように委員の方が畝作りをして、園児達のことを考えているなと感心いたしました。

それぞれの班に別れ畝の前にすわり小さな手にはチューリップ球根をしっかりとちながらきめられた穴に植え覆土を行いトントンとたたく子もおり、可愛いしぐさにチューリップが目を出す3月が楽しみだね。

「齢七十六歳土の上に立ち足から春を吸収しをり」 歌集 時田則雄から

まさに足元から春を吸収し、ひかりをいっぱいあびて、木の芽が伸びて草芽ものび、園児達の背丈も幾許かのび、チューリップの花が満開に咲き、春の花ざかり、園児たちよ！元気にとびまわれ！



# 編集後記

私の1週間は、水元にある「子ども園」の園児出迎えと安全管理としての、園玄関での「おはよう挨拶」から始まります。勿論、園庭には多くの花と実のなる樹木がありますが、朝の出迎え業務時に立つ公道向こう側には、「源平花桃」が植栽されています。この春にも見事な紅白の百花を咲かせるべく、日ごとに枝先に柔らかな緑の枝色を増し添えして

ます。  
花と緑は、人に季節感を持たせてくれるだけでなく、心に栄養を与え、日々の営みに元気を与えてくれるものです。まるで今季の寒波到来が、何事もなかったように来るべく季節に、満面の笑みを浮かべて咲かせるごとく「源平花桃」そのものなのです。

緑化推進協力員として、「緑化だより」の編集後記を綴る役目を担っている一人として、花と緑からいただく優しさと厳しさに感謝し、微力ながら葛飾区の緑化推進に努力を傾けたいと肝に銘じています。

1ブロック 佐々木 定治

.....\*.\*.\*.\*.....

私は先日「なんのつぼみ？」はる、なつ、ふゆシリーズ4巻を頂きました。子供が植物のことを楽しく学べる本です。お花の写真がとっても綺麗で、高齢者の方も楽しめる本だと思いました。昔から日本には白いたんぽぽ（しろばなたんぽぽ）があるのを初めて知り感動しました。

「なんのつぼみ？」監修:小池安比古 写真:白石順一 発行所:株式会社理論社

2ブロック 五十嵐 美鈴

.....\*.\*.\*.\*.....

～春うらら～

穏やかな日に、散歩の途中に、ボケの真っ赤な花が咲いていました。気持ちが軽くなり、春を感じたこの頃です。今、楽しみは、昨年春から、観葉植物のピカクシダをハンギング、または、木にアレンジして、成長した根を根分けして、新しい芽が出て、元気なシダを見ながら、ホコリ取り、水やりなどをする時間と、部屋に緑のある空間を楽しみ、楽しいひとときを過ごすことです。

3ブロック 江良 ヒデ子

.....\*.\*.\*.\*.....

ここのところ、緑化推進協力員の方たちではなく、自治体のボランティアの数人で花壇の手入れをしている場面を何度か目にしています。

きっと、こんな風に花壇の手入れをして、ゴミを片付けてくれている人たちは、朝早くから会社にいく方たちの目には映らないのかもしれないと、その時思いました。

もちろん活動している時に直接お声かけいただくこともありますが、私たち緑化推進協力員の活動もそういった所があると思います。

しかし、そんな忙しく行き来する方たちの目の端にも、みなさんが丁寧に手入れされた花壇の草花たちは映っていることでしょう。または、その時に気づかなくとも、休日の通りすがり、綺麗に咲く花に目を留めているかもしれません。

さあ、そんな風に花を目に映したり、目を留めてくれる方を思うと、手入れする時の手はテキパキと、お顔はなんとなく笑顔になってくるのではないのでしょうか？

花壇の手入れや緑化推進の活動で、そんな風に人のためになり、それを通して自分まで幸せな気持ちになれる。

そんな素敵な活動に携われているなど、みなさんそう思いませんか？

近く、大きなイベントもあるそうです。

みなさんのご活躍される姿をみるのが、今から楽しみです。

4ブロック 直井 勝

.....\*.\*.\*.\*.....